

## 健康長寿日本一

島根県では健康長寿日本一を目指して、平均寿命と平均自立期間をのばすことを目標にしているヨ



1. 平均寿命は男性は全国10位、女性は全国1位を目指します。
2. 65歳以上の平均自立期間を男女とも全国1位を目指します。

～しまね健康ぶらんより～

## 糖尿病及び関連疾患の医療費の推移は？

入院+外来一人あたり医療費：男性  
(全年齢年齢調整)



入院+外来一人あたり医療費：女性  
(全年齢年齢調整)



入院+外来一人あたり医療費：男性  
(65歳以上年齢調整)



入院+外来一人あたり医療費：女性  
(65歳以上年齢調整)



資料：各年5月診療分国民健康保険診療報酬明細書データを元に作成した。

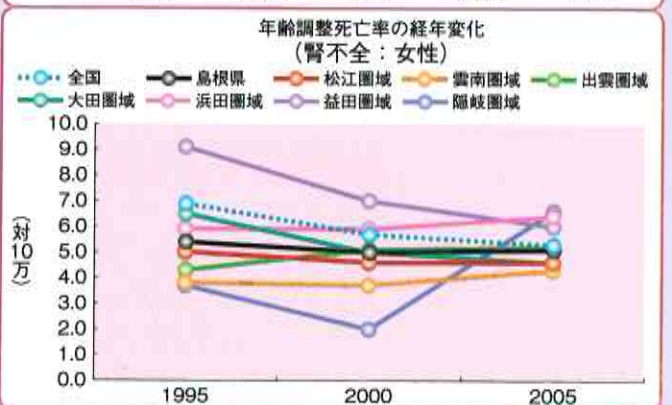
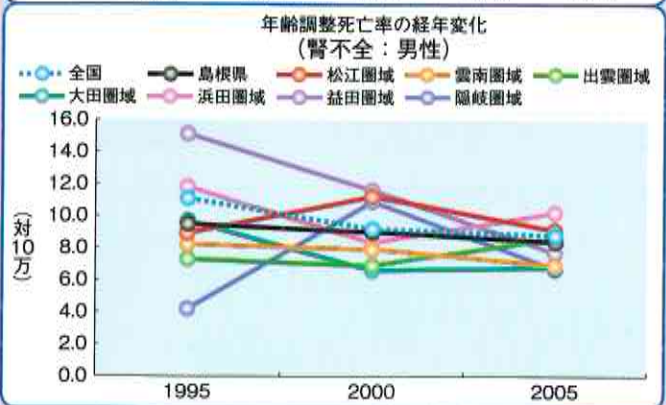
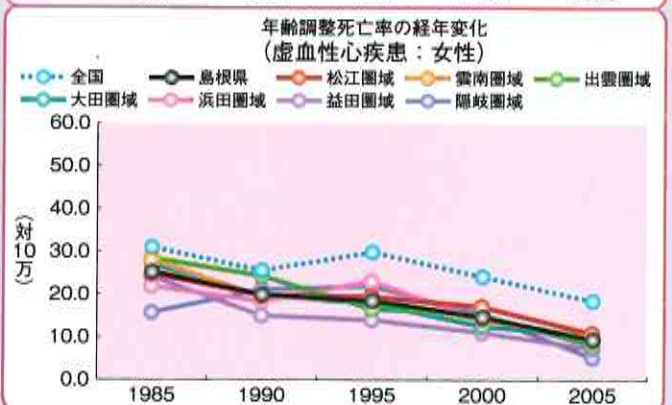
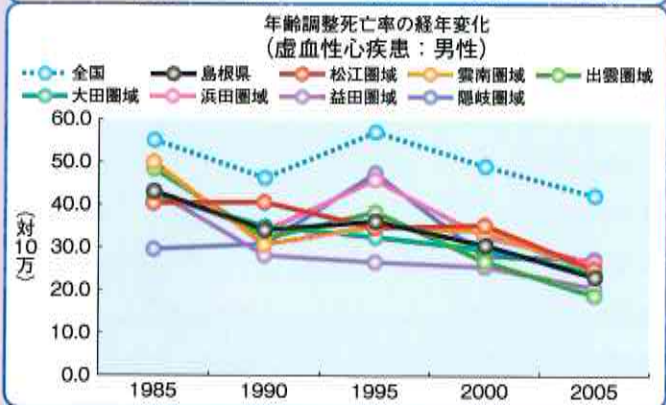
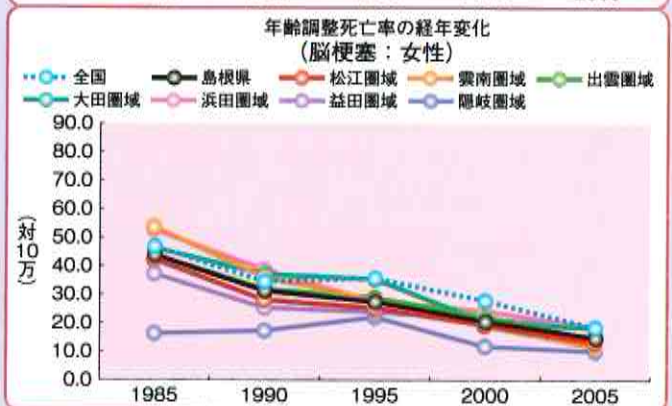
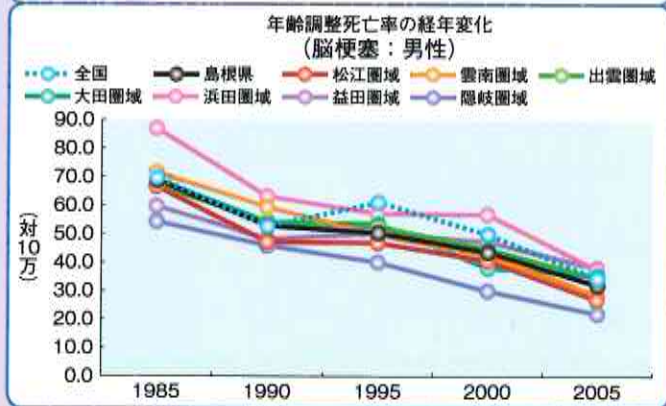
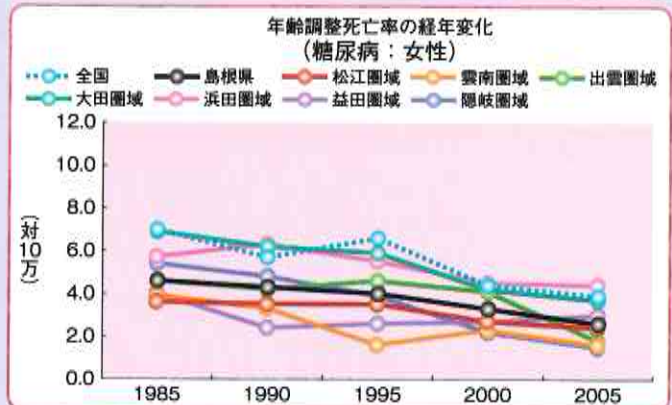
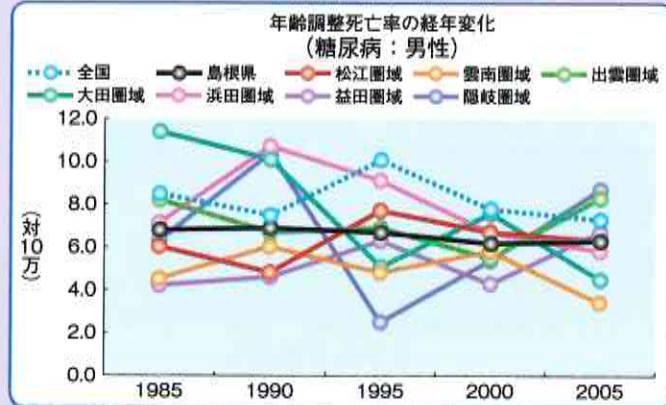
入院と外来を合計した1人あたり医療費をみると、全年齢では糖尿病関連疾患ではほぼ横ばいですが、腎不全が他の疾患に比べて医療費が高く、男性では約2.5倍程度となっています。65歳以上でみると、腎不全が年々増加しています、平成13年と平成18年を比較すると、男性は2.5倍、女性は3倍となっています。そのほかの疾患は横ばいです。



# 年齢調整死亡率の推移



年齢調整死亡率の推移及び全国と島根県・圏域を比較しました。全国と島根県を比較すると、腎不全の男性が全国とほぼ同じ程度であることを除けば、男女とも糖尿病、脳梗塞、虚血性心疾患は低いです。年次推移をみると、糖尿病男性と腎不全男性は横ばいですが、それ以外の疾患は減少傾向です。



## 年齢調整死亡率とは？

年齢構成の異なる地域間で比較できるように年齢構成を調整した死亡率で、値が大きいほど死亡する割合が高いことを示します。全国は各年の死亡率、島根県・圏域は各年を中間年とした5年平均の死亡率です。腎不全は平成7年から統計がとれるようになったため、それ以降の推移を示しています。

# 基本健康診査結果からみた糖尿病の実態は？

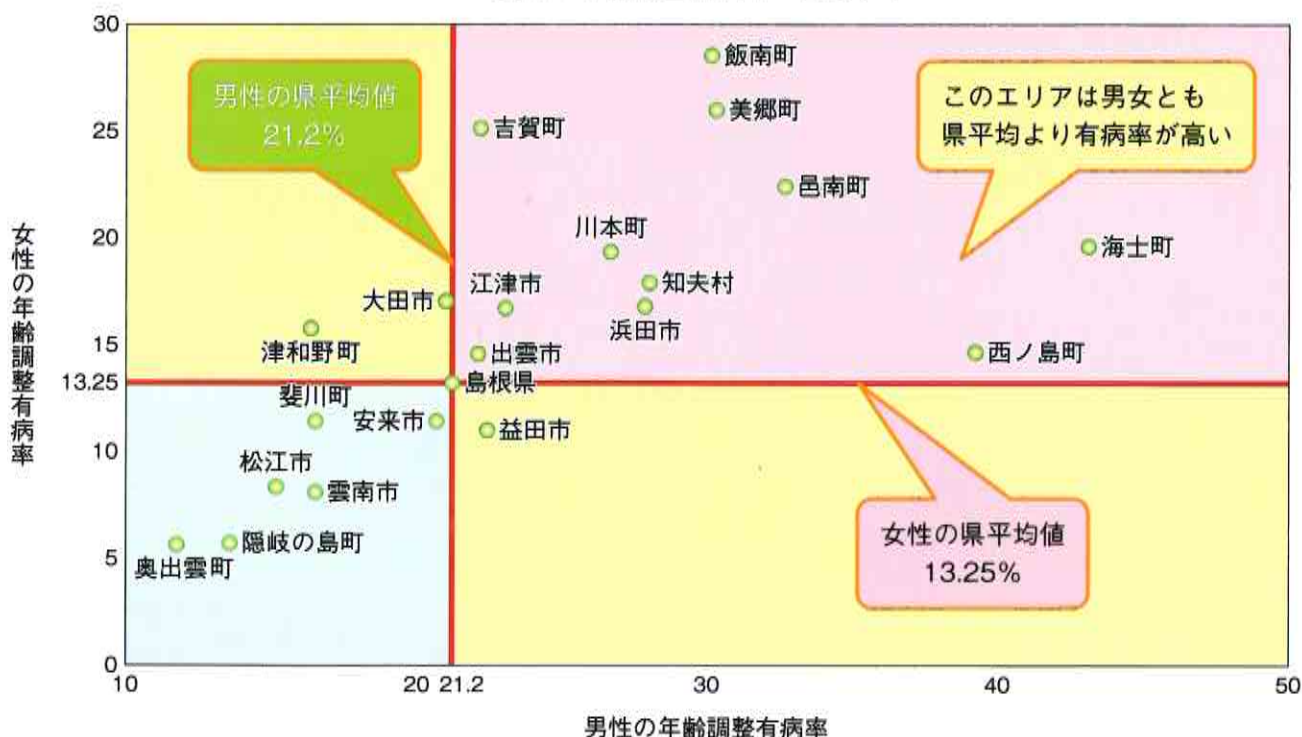
年齢調整有病率 指導区分別内訳 男性



年齢調整有病率 指導区分別内訳 女性



男女の年齢調整有病率 2007年



資料) 平成19年島根県基本健康診査データベースを元に作成した。

注意1) 糖尿病の有病率とは：糖尿病の治療中の人、食事指導や運動指導を受けている人、健診の結果詳細な検査が必要な人全ての合計を受診者数で割った値を言う。

注意2) 年齢調整有病率とは：年齢構成のちがいを補正した有病率

平成19年の市町村が実施している基本健康診査の結果から、糖尿病の有病率をみると、男性では20%程度、女性では13%程度で近年増加しています。

有病率を「要医療、要精査、要指導」の3区分し、年次推移でみると要指導が増加しています。

